

令和8年第1回大和村議会定例会  
一般質問通告一覧(令和8年3月13日金曜日 開催)

No	I	市田 実孝 議員	質問事項	要旨
			1. 集落支援の在り方について	<p>1) 村では現在各集落の運営に対して、財政的支援・集落支援金を行って大変喜ばれていますが、高齢化が進み、集落活動において、活動面で衰退が懸念されつつあるが、村として今後どのような支援を考えているか。</p> <p>2) 集落別に日頃より集落活動できる人的配置、地域活性化支援員の配置は今後検討していけないか。</p> <p>3) 職員とは、地域の行事等積極的に参加するよう地域活動の重要性を話されているか。</p>
			2. 特休制度の新設について	<p>1) 職員の採用定数は定数通り採用されているか、各課への職員配置は必要性に応じて対応されているか伺う。</p> <p>2) 各課別の休暇取得状況など把握し、課長自ら休暇促進には努めていくよう認知される状況にあるか。</p> <p>3) 職員が集落の要望に応じて集落活動する場合、今後、より地域活動しやすい環境を整えていくために、特休制度を作っていけないか。</p>

No	2	中井 文忠 議員		
質問事項			要旨	
	<p data-bbox="204 331 577 414">1.大和村では、ライドシェア事業計画はないのか</p> <p data-bbox="204 712 577 795">2.村内小中学校での児童生徒の呼称について</p>		<p data-bbox="601 331 1396 459">1) 各市町村の交通の不便な集落ではライドシェア事業が始まっている。大和村ではライドシェア事業の計画はないのか。</p> <p data-bbox="601 519 1396 602">2) ライドシェア事業が高齢者の買い物や病院受診等への対応策になるのではないか。</p>	<p data-bbox="601 712 1396 940">1) 現在、村内の小中学校で児童生徒の名前の呼び方について、教職員、児童生徒とも「～さん」付けて呼んでいるが、昔のように「～姉さん」「～兄さん」と名前を呼ぶことはいけないのか。また、このような呼称方式になった原因はどのような経緯か。</p>

No	3	勝山 浩平 議員	
質問事項			要旨
<p>1. 墓の継承者難・無縁墓対策として、必要とする集落への小規模な共同納骨堂（合葬墓）の整備助成を求めて</p> <p>2. 各小学校の今後の望ましいあり方について</p>	<p>1) 墓の継承者不足や無縁墓の増加に不安を抱く村民の声を受け、これまで4回にわたり共同納骨堂の整備支援を提案してきた。令和6年第3回議会の答弁では、共同納骨堂を望む住民がいるなら「さまざまな方法が考えられる」、村としても「事務嘱託員会などを通じて意見を聴きながら今後を検討したい」、助成制度についても「意見を踏まえて対応策を考える必要がある」と前向きな姿勢が示されたが、議会答弁以降、どのような検討が進められてきたのか、助成制度の検討状況はどうなっているのか、これまでの進展を伺う。</p> <p>1) 児童数の減少により、小学校の存続や教育環境に不安を抱く保護者が増えている。これまで村は「存続が望ましい」と答弁してきたが、新教育長の就任を機に、現状維持で存続を図るのか、統合を検討するのか、小中一貫教育など新たな教育形態を視野に入れるのかといった村としての基本方針を改めて確認したい。</p> <p>2) どの教育形態を選ぶにしても、子どもの成長を願う保護者の思いを丁寧に受け止めることが不可決である。行政だけで判断するのではなく、児童の保護者や未就学児の保護者の声を把握し、「子どもにとって望ましい教育環境」を共に考える必要がある。そのため、保護者アンケートを実施して意向を把握する必要性について、村当局の考えを伺う。</p>		

3. 成人の軽度・中度の難聴者への補聴器購入助成を求めて!

1) 近年の研究で、難聴が認知症の最大の「予防可能なリスク因子」とされ、軽度・中度の段階から補聴器を使用することが認知機能低下の抑制につながる可能性が示されている。また、若年層を含む村民にも聞こえの問題を抱える人が存在し、年齢を問わず支援が必要な状況がある。しかし補聴器は高額で、医療保険の適用もなく全額自己負担となるため、「必要でも買えない」状況が生じやすい。令和6年第4回議会で村当局は「補聴器購入助成の可能性は十分にある、実施方法やフォロー体制を含めて検討したい」と前向きな姿勢を示した。身体障害者手帳を持たない成人の軽度・中度難聴者を対象とした助成制度について、どのような検討が進められたのか、どのような進展があったのか伺う。

No	4	前田 清和 議員	
質問事項			要旨
1. 農業振興について			<p>1) 体験型観光農園として、毛陣地区に実証農園がある。収穫体験の実施、管理体制の充実など改善すべき点が見受けられるが、今後の取り組みについて具体的な説明を</p> <p>2) 大和まほろば館の運営について、厳しい経営状況の中、改善策としての具体的な取り組みなど、お考えはあるのか。</p> <p>3) 農業従事者の高齢化に伴い、耕作放棄地また遊休農地の増加が懸念されます。担い手農家の育成、新規就農の確保についての取り組みなど検討されているのか。</p>
2. 福祉政策について			<p>1) 交通弱者への支援対策として、村内移動支援「きびきび号」が活用されておりますが、現在の利用者状況、課題点、また今後の取り組みなど検討されているのか</p>